

感染症拡大予防のためのガイドライン

第4版

目 次

ガイドラインの趣旨	P. 1
1 体調等の自己管理及び基本的な行動について	P. 1～P. 4
(1) 感染対策について	
(2) 新しい生活様式の実践について	
(3) 感染リスクが高まる「5つの場面」について	
2 大学での授業及び施設利用について	P. 4～P. 7
(1) 大学通学時の注意点について	
(2) 講義室等の利用について	
(3) 図書館の利用について	
(4) 運動場、体育館等の利用及び課外活動について	
(5) 食堂、売店等の利用について	
(6) その他付属施設等の利用について	
3 大学イベントの開催等について	P. 7

<参考>

- ・新型コロナウイルス感染症に感染（疑い含む）した場合の報告フォーム
- ・発熱等による欠席報告フォーム
- ・厚生労働省 新型コロナウイルス感染症の予防
- ・厚生労働省 新型コロナウイルスに関するQ & A（一般の方向け）
- ・北海道 「新北海道スタイル」

2021年4月1日 北海道科学大学



北海道科学大学
+KEEP DISTANCE

ガイドラインの趣旨

新型コロナウイルス感染症は未だ収束が見通せません。今一度感染症について危機意識を持っていただき、感染予防に努めてください。学生、教職員が一丸となって安全な環境を整備することが重要になります。

可能な限り感染拡大のリスクを低減させることにより、

- ①学生が安心して学業に専念できる学修環境
- ②教職員が安心して教育研究活動・学生支援活動に従事できる環境
- ③大学周辺の地域住民にも安心していただける環境

が実現できます。

今般、「感染症拡大予防のためのガイドライン」を改訂しましたので、本ガイドラインを遵守し行動していただくようお願いします。

1 体調等の自己管理及び基本的な行動について

(1) 感染対策について

①基本的な感染予防対策

- ・登校・外出前に体温を必ず測定してください。
- ・普段から体調及び行動の記録をしてください。
- ・体調の変化に気をつけ、体調が悪いときは外出を控えてください。
- ・咳エチケットとして、また、感染予防対策としてもマスクを必ず着用してください。
- ・石鹸によるこまめな手洗い（30秒以上かけて）、又はアルコール系消毒液による手指の消毒を行ってください。
- ・人と人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）の距離をとってください。
- ・室内ではこまめに換気を行ってください。
- ・グループでの飲酒・飲食は感染拡大を招く要因が多いため、ゼミ・クラブ・友人等との複数人での会合は控えてください。
- ・黙食（短時間、大声を出さず、深酒せず、会話時ではマスク）を実践してください。
- ・アルバイトを行う場合は、勤務先の業種別に定められた感染拡大予防ガイドラインに従って行動してください。
- ・コミュニケーションは、SNS等のオンラインツールを積極的に活用してください。

②移動に関する感染対策については、以下に留意してください。

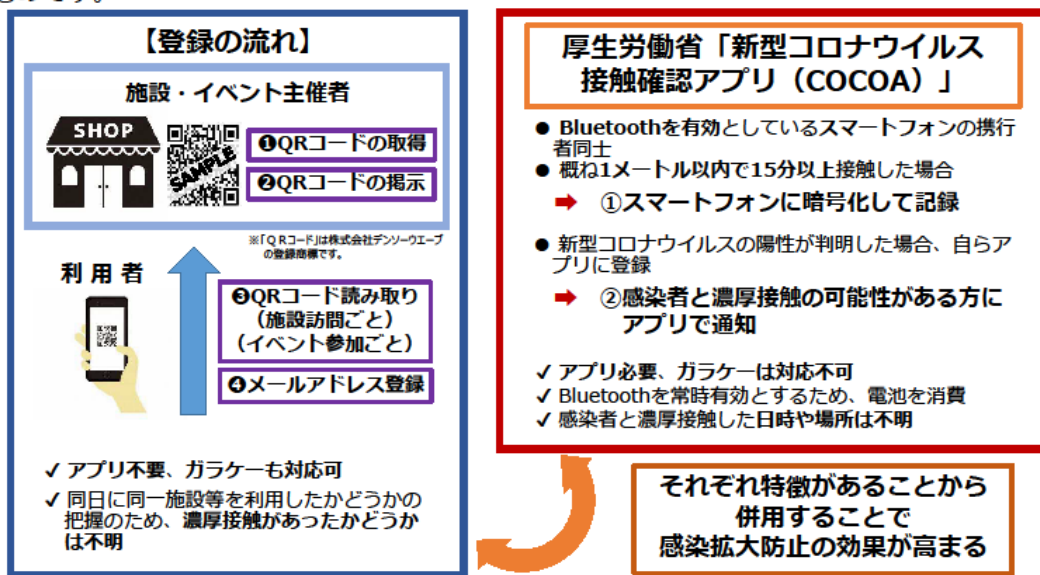
- ・感染が流行している地域との移動は控えてください。
- ・地域の感染拡大状況を意識し、当該都道府県の各種要請に従ってください。

③接触確認アプリ等の活用を検討してください。

- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）や北海道コロナ通知システムの活用も有効です。
- ・利用の際は内容をよく確認する必要がありますが、利用が増えることで感染防止効果が期待できるうえ、感染者との接触が判明した場合には保健所のサポートを早く受けることができます。もし、接触確認の通知が自分にきた場合は、医務室までご連絡ください。

7 北海道コロナ通知システム

「北海道コロナ通知システム」は、施設を利用した方やイベントに参加した方から感染者が確認された場合、同日に同一施設を利用した方に対して、北海道からEメールでお知らせするものです。



新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

北海道コロナ通知システム

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/coronaalertsysteem.html>

(2) 新しい生活様式の実践について

北海道や厚生労働省が示している以下の「新しい生活様式」を積極的に実践し、大勢が集まる集会等への参加をできる限り控えるなど、感染拡大予防策を積極的に取り入れてください。



① 新北海道スタイル

道民の皆さまへ

② 「新北海道スタイル」と「ラビット・ユキネ」のコラボ「学校の新しい生活様式」

ラビット・ユキネと一緒に
「学校の新しい生活様式」をはじめよう!

③ 厚生労働省「新しい生活様式の実践例」日常生活の各場面別の生活様式

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

<p>買い物</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 通販も利用 <input type="checkbox"/> 1人または少人数ですいた時間に <input type="checkbox"/> 電子決済の利用 <input type="checkbox"/> 計画をたてて素早く済ます <input type="checkbox"/> サンプルなど展示品への接触は控えめに <input type="checkbox"/> レジに並ぶときは、前後にスペース 	<p>公共交通機関の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 会話は控えめに <input type="checkbox"/> 混んでいる時間帯は避けて <input type="checkbox"/> 徒歩や自転車利用も併用する
<p>娯楽、スポーツ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 公園はすいた時間、場所を選ぶ <input type="checkbox"/> 筋トレやヨガは自宅で動画を活用 <input type="checkbox"/> ジョギングは少人数で <input type="checkbox"/> すれ違うときは距離をとるマナー <input type="checkbox"/> 予約制を利用してゆったりと <input type="checkbox"/> 狭い部屋での長居は無用 <input type="checkbox"/> 歌や応援は、十分な距離かオンライン 	<p>食事</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 持ち帰りや出前、デリバリーも <input type="checkbox"/> 屋外空間で気持ちよく <input type="checkbox"/> 大皿は避けて、料理は個々に <input type="checkbox"/> 対面ではなく横並びで座ろう <input type="checkbox"/> 料理に集中、おしゃべりは控えめに <input type="checkbox"/> お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて
<p>冠婚葬祭などの親族行事</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 多人数での会食は避けて <input type="checkbox"/> 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない 	



(3) 感染リスクが高まる「5つの場面」

普段の生活においても以下の「5つの場面」に留意し、友人や家族、自身の感染リスクを下げるよう節度と自覚を持った行動をとっていただくようお願いいたします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



2 大学での授業及び施設利用について

2021年度の授業は、遠隔と対面が混在する授業形態となりますが、学部学科によっては対面授業を中心とした授業形態をとっています。授業に関する注意・確認事項については次のとおりです。ただし、学内の状況により記載内容を急遽変更する場合がありますので、大学からの情報を確認してください。

(1) 大学通学時の注意点について

- ・通学前に体温チェック等で自己の体調を確認・記録してください。
- ・発熱やその他の風邪症状がある場合は、自宅療養や病院（発熱外来等）を受診してください。
- ・発熱やその他の風邪症状により授業を欠席する場合は、授業当日に「発熱等による欠席報告フォーム」から手続きしてください。出席停止の手続きをとる場合は、HUSナビ「学生へのお知らせ/特別欠席届、出席停止期間記録簿の提出について（2021年度～）」を参照してください（短大部は上記参照が不要です。特別欠席届および出席停止期間記録簿は使用せず、欠席届の提出にて、出席停止の手続きとなります）。なお、出席停止として扱う場合は、医療機関の領収書等が必要となります。
- ・風邪症状等の有無にかかわらず、マスクを必ず着用してください。
- ・キャンパス内の各建物出入口及び講義棟の各階には、手指消毒用アルコールを設置しています。キャンパス内入構時は石鹸での手洗い又はアルコール系消毒液による手指の消毒を行い、衛生管理に努めてください。

(2) 講義室等の利用について

- ・講義室に収容できる人数は、試験体制の人数（教室座席数のおよそ半数程度）を基本としますが、履修者数によって若干の変動があります。
- ・授業中には30分に1回以上の換気を行います。
- ・A～F棟の換気システムは、集中管理により常時外気を取り入れています。G棟は操作パネルで換気モードを「熱交換」に設定してください。
- ・教室内でも基本的な感染予防対策を実践してください。また、最低1m以上の間隔を確保することとし、科目担当教員が指定した座席に着席してください。
- ・清掃業者がゴミを頻繁に回収できるよう、教室内のゴミ箱は廊下に出しています。
- ・講義室の机の消毒は、毎日放課後に行います。
- ・対面授業の前後に遠隔授業を受講する際は、開放教室が使用できます。
- ・自宅の通信環境が遠隔授業受講に支障がある学生は、対面授業がない日であっても開放教室の使用を認めます。
- ・開放教室は日々変更になりますので、HUSナビや掲示を確認してください。開放教室を利用する際は、ソーシャルディスタンスを守り間隔を十分確保して利用するほか、イヤホン等を持参し、受講の際は必ず着用してください。また、G棟教室で遠隔授業を受講する際は、LANケーブルを必ず持参してください。
- ・ゼミ室等の利用、衛生管理については、担当教員の指示に従ってください。

(3) 図書館の利用について

- ・図書館の開館時間は、HP等で確認してください。
- ・基本的な感染予防対策を実践した上で利用してください。
- ・対面などの接触機会軽減のため、自動貸出返却装置を優先利用してください。
- ・閲覧席を利用する際は、ソーシャルディスタンスを守り間隔を十分確保して利用してください。
- ・書籍の除菌を行う除菌BOXを1階入り口付近に設置していますので、利用を推奨します。
(利用者が自由に使用できます)
- ・貸出手続きの順番待ちでは、ソーシャルディスタンスを守りフロアマーカーにしたがって、間隔を空けて整列してください。
- ・対面で貸出手続き等を行う場合、カウンターを透明板で仕切っていますので予めご了承ください。
- ・図書館書籍宅配貸出などのサービスを積極的に活用してください。
- ・電子ブック、オンラインジャーナル等のサービスを積極的に活用してください。

(4) 運動場、体育館等の利用及び課外活動について

- ・授業による体育館等の使用は、衛生管理を含め担当教員の指示に従ってください。
- ・体育館更衣室内でもマスク必着、短時間で利用してください。
- ・課外活動をする場合は、本ガイドライン及び「課外活動を安全に行うためのガイドライン」を遵守し活動してください。また、各競技団体等のガイドラインにも従い、衛生管理、体

調管理に十分留意して活動してください。

- ・活動前には、37.5度以上の発熱、倦怠感、嗅覚・味覚の異常、家族・同居人に発熱やその他の症状がなかったか確認してください。
- ・一度の活動人数を最低限に抑え、活動は短時間で行うようにしてください。
- ・換気を徹底し、至近距離で会話しないようにしてください。
- ・用具の共有は必要最低限に抑え、共有用具使用後はアルコール消毒をしてください。
- ・タオル、ビブス、ドリンクボトルは絶対に共有しないでください。
- ・運動系の活動であってもマスクを着用してください。※

※運動中のマスク着用時の注意点

- ・熱中症を発症するリスクが高くなるため、こまめに水分補給をしてください。
- ・体調の変化に注意し、体調不良になった時はすぐに運動を中止し、人が少ないところで休んでください

- ・詳細については「課外活動を安全に行うためのガイドライン」を参照してください。

(5) 食堂、売店等の利用について

<食堂>

- ・HITプラザ1階及びA棟食堂の2店舗の他、E棟食堂については「豊穡の樹」のみ営業しています。なお、HITプラザ2階は混雑回避のため、昼食場所として開放しません。営業施設や特別メニュー、営業時間については、HUSナビで確認してください。
- ・食堂利用時は、石鹼による手洗い又はアルコール系消毒液による手指消毒を必ず行ってから利用してください。
- ・券売機、配膳口では密集にならないようソーシャルディスタンスを守り間隔を空けて並んでください。
- ・座席については、対面での食事による飛沫感染防止のため、座席数の削減及びテーブル上にアクリル板を設置しています。混雑時はテイクアウトメニューを購入するなどの工夫をしてください。
- ・食事中（マスクを着用していない時）の会話は控えてください。
- ・食事が終了しましたら、長居をせず速やかに席を譲ってください。
- ・営業終了後は、以下のとおり学習スペースとして利用することができます。

HITプラザ1階・2階 営業終了後～20:00

E棟食堂（HUS CAFETERIA） 営業終了後～20:00

A棟食堂（HUS TERRACE） 営業終了後～22:00

※社会情勢に合わせて、時間の変更や閉鎖等の対応をする場合があります。

<売店>

- ・営業時間については、HUSナビで確認してください。
- ・店内が狭いため、陳列棚及びレジ付近はソーシャルディスタンスを守り間隔を空けるよう配慮してください。
- ・利用の際は、混雑している時間帯を避けるなどの工夫をしてください。

＜弁当等の持参＞

- ・食堂の座席数削減、売店の混雑緩和をお願いしていますので、新型コロナウイルス感染症対策のひとつとして、「弁当の持参」、「通学途中のコンビニ利用」も推奨しています。ただし、気温や湿度の変化による食中毒には十分注意してください。
- ・弁当などの飲食は、空き教室を利用できます。利用の際は黙食を実践し、ゴミの片付け等は各自で行ってください。

(6) その他付属施設等の利用について

- ・感染症対策としてトイレのハンドドライヤーを停止していますので、ハンカチを持参してください。
- ・授業や課外活動終了後、特に用事のない方は速やかに帰宅してください。
- ・各棟の学習スペース等を利用する場合は原則 20 : 00 まで認めます。ただし、A・B・C 棟は 22 : 00 まで利用可能としますが、20 : 00 以降に施設等を利用する場合はポータルシステムから「時間外在室届」に入力してください。利用する際は、ソーシャルディスタンスを守り間隔を空け、対面しないよう配慮してください。
- ・その他大学内の施設等については、類似する施設のガイドライン又は保健所等の助言を参考に、感染拡大予防のための取り組みを最大限講じた上で利用してください。

3 大学イベントの開催等について

イベントの開催等については、新型コロナウイルス感染症の状況次第となりますが、感染状況及び開催時期により大学が個別に実施の判断をします。

開催する場合は、衛生管理の徹底、「新北海道スタイル」の取り組みを徹底するなど、感染症拡大予防のための取り組みを最大限講じます。

以上のことを遵守し、感染拡大予防の取り組みを講じながら「大学生活」を送ってください。

なお、本ガイドラインに変更等が生じた場合は、本学HPやHUSナビを通じて連絡しますので、各自でご確認ください。

<参考>

- ・ 新型コロナウイルス感染症に感染（疑い含む）した場合の報告フォーム

<https://forms.gle/6ASzmTSG93UJ6KR68>



- ・ 発熱等による欠席報告フォーム

<https://forms.gle/L2ByKHafZJup7Zv76>



- ・ 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症の予防

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html

- ・ 厚生労働省 新型コロナウイルスに関するQ & A（一般の方向け）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

- ・ 北海道 「新北海道スタイル」

<https://newhokkaidostyle.jp/>